

令和2年度 経営発達支援計画 実施報告

1. 評価委員会実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・開催日時：令和3年11月24日（水）16:00～16:45 ・開催場所：まつえ南商工会 宍道本所 ・出席者：委員 石橋宗一郎（日本政策金融公庫松江支店 融資課長）書面 委員 西田和之（松江市商工企画課 課長）書面 事務局 内田 豊（まつえ南商工会 事務局長） 事務局 高見 真（まつえ南商工会 経営指導員（経営支援センター長）） 事務局 前島広奉（まつえ南商工会 経営指導員） 事務局 高木 篤（まつえ南商工会 経営指導員） ・提出資料：実績評価シート、実施状況評価表（自主評価）
--

2. 事業項目別評価状況と改善点

経営発達支援事業	評価※
<p>1. 地域の経済動向調査</p> <p>◆実施内容</p> <p>(1)自主調査 【目標：24事業者 ⇒ 実績：24事業者】 調査先24事業者を調査対象として実施。景況調査先以外の17事業者は記帳機械化先から選定。</p> <p>(2)各種調査 島根県の「最近の本県経済の動向（概況）」などの情報を必要な時にホームページから収集。</p> <p>(3)活用 事業計画の作成の際に外部環境の参考資料として活用。また管内景気動向として会報で報告。</p> <p>◆効果検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主調査は業種別に四半期毎の当地域の業況把握を目的とし、計画通り全四半期毎で調査を実施できた。 ・自主調査において記帳機械化先の17件のうち回収できない事業所が昨年同様にいくつかあった。 ・自主調査を実施することで、地域の経済動向の裏付け資料となっている。また実施した調査は管内状況として会報で周知することができた。 <p>◆外部評価委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成されている。引き続き調査を実施し調査結果を経営支援に活用されたい。 	B
<p>2. 経営状況の分析</p> <p>◆実施内容</p> <p>(1)経営分析対象者の選定 【目標：18事業所 ⇒ 実績：50事業所】 補助金申請先及びネットde記帳利用先等から支援事業者を選定。</p> <p>(2)経営状況の分析</p> <p>①財務分析 【目標：9事業所 ⇒ 実績：36事業所】 ネットde記帳利用先を中心に財務分析を実施。</p> <p>②環境分析 【目標：9事業所 ⇒ 実績：15事業所】 補助金申請者を中心に環境分析を実施。持続化補助金の申請に伴う分析がほとんど。</p> <p>◆効果検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境分析を実施した支援事業者は、創業・補助金申請などそれぞれの目的に沿った課題解決や計画策定の指導の際に参考となっている。 ・ネットde記帳利用の支援事業者に対して、図で示した分析結果を毎年提供し説明することで経営資料としての意識の醸成が図れている。 <p>◆外部評価委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を大きく上回る実績をあげていますのでAとしました。今後も取組みを継続してください。 ・目標を大幅に達成されている。引き続き分析結果を経営指導に活用されたい。 	A
<p>3. 事業計画の策定支援</p> <p>◆実施内容</p> <p>(1)事業計画策定支援 【目標：5件 ⇒ 実績：15件】 補助金申請、創業の計画策定を支援。コロナ禍で中期的目標達成のための販路開拓がほとんどだが、設備導入の計画もあった。</p> <p>◆効果検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業が目的で課題は明確となっているが、事業計画の策定により文書化を支援することで、実効性の高い計画策定の支援ができた。 ・職員での情報共有が十分でない問題点はあるが、支援事業者から必要とされる支援は、ある程度実施できたと思われる。 <p>◆外部評価委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標を大幅に達成されている計画もある。引き続き補助金申請等の支援されたい。 	B

<p>4. 事業計画策定後の実施支援</p> <p>◆実施内容 (1)事業計画の実施 【目標：20件 ⇒ 実績：43件】 補助金で通年申請があり実行支援もずれている。前年度の計画策定支援者の実施支援も含む。</p> <p>◆効果検証 ・事業実施状況の確認は、補助事業の実行を支援する事業者が多いため、確認の機会があった。また目的が明確な補助事業の実施支援ということもあり、計画との極端な乖離は見られなかった。 ・経営計画の実施支援は目標を上回っている。計画策定支援が年度全般にわたっているため、今年度4回の実施支援をした事業者は少ないが、前年度の計画策定支援者に対する実施支援も含めているため実績数値としては大きくなっている。</p> <p>◆外部評価委員の意見 ・今後は再生計画策定支援も重要な取組みになってきます。 ・目標を大幅に達成されている計画もある。引き続き支援を継続されたい。</p>	B
<p>5. 需要動向調査</p> <p>◆実施内容 (1)需要動向の収集 市場規模、業界動向など事業計画策定に必要な情報を主にインターネットを利用し収集。 (2)需要動向情報の活用 【目標：5事業所 ⇒ 実績：14事業者】 補助金申請者等に対し事業計画策定の参考資料として活用した。</p> <p>◆効果検証 ・需要動向は支援事業者の補助金等の事業計画策定のための情報収集が中心となっている。支援事業者に必要な需要動向に対する情報は、提供されていると判断する。 ・需要動向の経営指導員間での情報共有や情報の整理は出来なかった。</p> <p>◆外部評価委員の意見 ・調査結果の整理・活用に努められたい。</p>	B
<p>6. 新たな需要開拓に寄与する事業</p> <p>◆実施内容 (1)情報発信による販路開拓支援 【目標：5事業所 ⇒ 実績：4事業所】 会員情報を提供するサイトが、ShiftからGoopeへシステム変更となり推進が難しくなった。補助金や専門家の活用によりホームページ作成や機能強化などを支援した。 (2)展示会等による販路開拓支援 【目標：3事業所 ⇒ 実績：2事業所】 ものづくりビジネスマッチングオンライン商談会による販路拡大を支援。 (3)関係機関との連携による販路開拓支援 市の農水商工連携事業、ものづくりビジネスマッチング事業に協力。</p> <p>◆効果検証 ・SHIFTを活用した情報登録は、Goope移行に伴うルール変更や一時的な使用中止により推進が難しくなったため出来なかった。また、事業者に必要な情報は、迅速に情報伝達できる仕組みを活用し提供を心掛けた。 ・販路開拓に意欲ある事業者に対しては、補助事業や専門家派遣により支援した。 ・温泉地の土産物店へ斡旋する商品については、需要と供給の規模の問題もあり実現出来なかった。</p> <p>◆外部評価委員の意見 ・引き続き市との連携をお願いしたい。</p>	B
地域経済の活性化に資する取組	
<p>◆実施内容</p> <p>1. 地域資源を活用した地域活性化支援 【目標：1件 ⇒ 実績：0件】 資源開発委員会による地域資源を活用した開発はコロナ禍で実施できなかった。</p> <p>2. 温泉を核とした観光振興による地域活性化支援 (1)玉造温泉活性化のための協議会の開催 【目標：3回 ⇒ 実績：1回】 関係機関による玉造温泉街の活性化のための連携会議を実施。今年度は1回の実施となった。 (2)チャレンジショップ支援による温泉街の魅力向上 【目標：1事業者 ⇒ 実績：1事業者】 空き店舗に対して新規出店の相談を実施。玉造温泉街ではないが1店舗の出店を支援。 (3)インバウンド観光の受入れ支援 コロナ禍もあり支援の実績なし。</p> <p>◆効果検証 ・商品開発に取り組む資源については、事業活動が出来なかった。 ・玉造温泉街活性化としての空き店舗対策については、対象者がなかったが、地域全体として見て宍道の空き店舗に対し1件を支援した。また、関係機関との会合は、コロナ禍もあり1回の実施となった。 ・地域資源の商品化や観光振興については、いずれも実施できなかった。</p> <p>◆外部評価委員の意見 ・コロナで苦しんでいる事業者の方のためにも取組みを継続してください。 ・アフターコロナを見据え、事業者の活動を支援されたい。</p>	C

支援能力向上のための取組		評価※
<p>1. 支援ノウハウの情報交換</p> <p>◆実施内容 他の商工会、支援機関等が参加する会議への出席は減少したが、個別対話などで情報交換を実施。</p> <p>◆外部評価委員の意見 ・オンラインを活用し情報交換をやっていきましょう。 ・引き続き情報共有に努められたい。</p>		B
<p>2. 経営指導員等の資質向上の取り組み</p> <p>◆実施内容 WEB研修やOJTによる支援能力向上を実施。事例研修の機会なかった。</p> <p>◆外部評価委員の意見 ・引き続き情報共有を図り経営指導に活かされたい。</p>		B
<p>3. 組織内共有</p> <p>◆実施内容 経営支援センター会議等を実施し支援情報を共有。コロナ禍で会議を見送り回数減少。一部WEB会議を導入</p> <p>◆外部評価委員の意見 ・引き続き情報共有に努められたい。</p>		B
<p>4. 事業の評価と見直し</p> <p>◆実施内容 ・本事業に対する報告・評価・見直しに対する意識づけのため、理事会での報告に努めた。</p> <p>◆外部評価委員の意見 ・引き続き評価結果を事業の見直しに活かしていただきたい。</p>		B
次年度（令和3年度）以降における改善点		
<p>5年間の実施状況を踏まえて次の点を改善する。</p> <p>①地域経済動向の調査対象の拡大 プレを少なくするため対象企業を24から36社に増やす改善を図る。</p> <p>②経営計画に対する実施方法の変更 セミナーを開催による啓発強化を図り、補助金等の申請者を含め、計画策定支援者数を大幅に増加した目標を設定する。また実施後の支援の効果を高めるため、売上・経常利益増加の支援事業者数の目標も設定する。</p> <p>③需要動向調査の取り組み改善 当会独自に観光客へのニーズ調査を実施するとともに、事業者が開発する商品評価を実施する大幅な事業の方向転換を図る。</p> <p>④新需要開拓の実施事業の改善 Goop e等を活用した支援体制を再構築し販路開拓を実施するとともに、島根ふるさとフェア・ものづくりビジネスマッチング展示・商談会を利用した出展支援を実施することで新たな需要開拓を支援する。</p>		

※ 評価（総合評価）：A大変効果があった、Bまあまあ効果があった、Cあまり効果がなかった、Dまったく効果がなかった。